



NEWS RELEASE

産科と連携した妊婦向けラーニングサービス『妊婦手帳』が 2014年度グッドデザイン賞を受賞

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(以下、博報堂DYメディアパートナーズ)と株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)が開発し、2013年12月11日(水)より無料提供(※1)している、妊娠中の不安を軽減する妊婦向けラーニングサービス『妊婦手帳』が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2014年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

■ 評価のポイント ■

今回のグッドデザイン賞では「“病院と通院者のこれからの関係”を提示したサービスということだが、まさにそのインターフェースデザイン、インタラクション、サービス内容でユーザー(妊婦)に絶大な人気を得ている。美しいGUIデザインと直感的に操作できるインタラクションは、高く評価できる。」(審査員コメント)と、病院と妊婦を結びつける新しい仕組みが受賞につながりました。

■ 利用者の声 ■

博報堂DYメディアパートナーズとドコモが2014年9月に行ったユーザーアンケートでは、84.5%の方が「満足している」、83.3%の方が「不安が軽減された」、98.7%の方が「週1回以上利用している」と回答。また「視覚的に分かりやすい」「シンプルで気に入っている」などの反響が多数寄せられており、ユーザーの皆さまからも高い評価をいただいております。

■ 妊婦手帳について ■

現在、妊婦手帳は56施設の医療機関が参加し情報提供が行われています。2017年3月末までに全国500医療機関との連携を計画しており、今後も連携医療機関・エリアともに拡大し、“妊婦の不安軽減ツール”としても、“病院支援ツール”としても活用いただけるサービスを目指してまいります。どうぞ、ご期待ください。

《妊婦手帳 画面》



GOOD
DESIGN
AWARD
2014



Top



To Doリスト



Today's Baby

※1 別途、パケット通信料がかかります。また、過去記事の閲覧や検索・グラフ表示などの一部機能は有料メニュー(税込200円/月)として提供いたします。

■ お問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎・桐明 03-6441-9347

=参考=

<妊婦向けラーニングサービス『妊婦手帳』概要>

「妊婦手帳」は、妊娠中の方の自己学習や自己管理をサポートするアプリです。最大の特長は、医療機関と連携し情報を共有できる点です。妊娠中の不安を和らげるとともに、医療現場の負担軽減や医療機関への信頼感向上にも貢献します。

<特長>

- ・妊娠時期に合わせた赤ちゃんの様子や Q&A、おすすめレシピなどを閲覧したり、毎日の体調を入力・管理したりできます。
- ・医療機関との連携が可能。通院中の妊婦に行って欲しいことやお知らせ事項などを、医療機関から配信できます。

<サポートサイト>

妊婦向け: <http://www.nimpu.jp/support>

医療機関向け: <http://www.nimpu.jp/md-support>